

じさせたい。」という先生方や保護者の方々の思いに応えたもので、ヒノキの間伐木を使つてのノコギリ体験や鉛筆立て作り、ネイチャーゲームを行いました。



ネイチャーゲームの様子

当日は、学校の周囲の山々が雪化粧をする程の寒空でしたが、児童の皆さんの笑顔と元気な声が会場いっぱいに飛び交い、寒さも吹っ飛んでしまうほど、とても賑やかな授業となり、ノコギリ体験や鉛筆立て作りでは、児童の皆さんが、慣れない手つきながら一生懸命にノコギリを使い、時折、父母の方々の力を借りながら、この世にひとつだけの鉛筆立て作りに取り組み、無事、児童の数と同じ六十五個の鉛筆立てが完成しました。

またネイチャーゲームでは、校庭の林や庭園内の宝物さがしを行い、親子がひとつになって、協力しながら、自然とふれあいを楽しんでいました。



中野小学校の出前授業（記念写真）



### 長野県作業路作設マニュアル作成検討委員会が現地視察

【東信署】十一月二十六日(金)、「長野県作業路作設マニュアル作成検討委員会(委員長・酒井秀夫東京大学大学院農学生命科学研究科教授)」による現地視察が長野県上田市菅平国有林の森林環境保全整備(保育間伐活用型)事業地で行われました。長野県では、現場で事業を実施する技術者の技術の向上と森林整備の推進に資することを目的に、「長野県森林整備作業路作設マニュアル」を作成するとしているところです。

このマニュアルでは、南北に長く、また地質・地形条件も複雑である長野県の地域特性を考慮し、県内全域で共有でき、かつ山を壊すことなく、長期間使用でき



実際の路網作設状況を踏まえ視察

る道づくりの作設技術をとりまとめることとしています。

当日視察が行われた現地は、本年度、信州上小森林組合が「低コスト路網・高効率作業システム」により請負事業を実施したところで、視察においては、東信署(署長、間伐推進企画官)から事業の概要及び作業路作設の考え方について、また、事業の実行担当者で検討委員会委員でもある信州上小森林組合の中村武志さんから路網作設の実行状況について説明を行い、実際の路網の作設状況を踏まえた現地検討が行われました。

### 南木曽町の森林について学ぶ

— 南木曽小学校ふるさと学習を実施 —

【南木曽支署】南木曽小学校三年生三十五名を対象に「ふるさと学習」に伴う森林教室を開催しました。

この森林教室は小学校の総合学習の一



検討委員会の現地検討の様子

環で当支署に依頼があり、十月二十日（水）に南木曽国有林において自然散策を兼ねながら、森林の役割や大切さを伝えるなどしながら、林道沿線の草や葉で「森の万華鏡づくり」を楽しみました。



森の万華鏡の材料を採取

また、十一月四日（木）には賤母国有林「檜皮の森」において、伝統文化財の建物の屋根に利用されている檜皮の採取の様子を、公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会の案内で見学しました。

原皮師によるぶり縄を使った木登りの実演、檜皮を採寸する作業の見学や子供たち自らぶり縄を使っての木登りの体験などを行い、続いて、三殿土場に移動して、並べられた木材の様子を見学して、森林・林業の大切さを学んで森林教室を終りました。

児童からの感想は「ぶり縄で三十メートル登るのすごいなあと思った」「ヒノキの皮に油があるなんて知らなかった」などの感想が聞かれました。

南木曽支署として「檜皮の森」をはじめとした「木の文化を支える森づくり」などのフィールドを活用した森林環境教育を今後も関係者と連携を図りながら積極的に進めていきます。



ぶり縄を使った木登り体験

### 南木曽町制施行五十周年事業

#### 地域住民と「伊勢山登山」

「南木曽支署」十一月三日（水）、南木曽町制施行五十周年事業「伊勢山記念登山」を南木曽支署主催で三殿向国有林において開催し、南木曽町住民五十名が参加しました。

伊勢山は木曽川右岸に位置し、身近な山ではありますが、登山道もないことから登ることができなく、町内から見上げる存在でした。

伊勢山の登り口はその昔、柿其地区から田立地区へ抜ける柿其峠として、古道が利用されていましたが、近年では利用する人がほとんどいませんでした。

この事業は、森林官発案により柿其森林事務所職員が森林整備に伴い歩道を整備する中で、住民の方々に親しんでいただくよう計画を実施したもので、実施にあたっては、当支署、南木曽町など関係機関が協働する中で準備や運営などを行ってきました。

当日は、御嶽山が雪化粧をするなど肌寒い中ではありましたが、前日の雨模様とは打って変わっての晴天に恵まれ、参



山頂から町を望む参加者



山頂からの景色（南木曽支署も確認できます）



参加者全員で記念撮影

加者は晩秋の登山を楽しみました。参加者からは「近くに登山を楽しめる

ところが、よかつた」「伊勢山は身近であり一回は登ってみたかつた」などの感想も出され、地域から感謝されるなど、多くの成果がありました。

今後もしっかりとした地域との関わりや地域目線を大切にしながら諸事業に取り組みたいと考えています。

### 第十五回 NCF 事業

「名古屋事務所」十一月十三日(土)、今年度最後となる名古屋シティ・フォレスト事業を愛知森林管理事務所管内の八曾国有林において、「林内に光を取り込み元気な林に育てよう」として間伐作業を実施しました。

間伐作業は、森林整備の充実感からか、毎年人気の企画ですが、安全と区域面積の関係から、募集人数が限られてしまいます。今回も十五名の募集に対し三十八名の応募があり、抽選による選定となり



伐倒の指導を受ける参加者の皆さん

ました。

当日は爽やかな秋晴れの絶好の作業日和となりました。

初めに作業の方法、安全についての説明のあと、三班に分かれての作業を行いました。現地は傾斜があるため、足元に注意しながら、伐倒方向を定めて行いましたが、ほとんどかかり木となったため、木回しを使つての処理と手鋸での作業に汗をかきながらの作業となりました。

午後からは伐採、玉切りしたものを搬出しました。肩に担いでの搬出に、最後の一汗をかいていただき終了となりました。

参加者からは、「もっと伐りたかつた」「来年も同じ作業がしたい」などの声をいただきました。搬出した丸太は、来年度のイベント等で木工クラフトなどに有効利用する予定です。

## シリーズ 現場最前線

### 点在する国有林で幅広く業務を実施

#### 「愛知森林管理事務所豊橋森林事務所」

豊橋森林事務所は、愛知県東三河の中心都市「豊橋市」に位置し、中部局管内最南端に位置する豊橋国有林をはじめとして豊橋市・岡崎市・新城市に点在する七箇所の国有林約二、四〇〇畝と官行造

林地二五畝を管理しています。

管内国有林はそのほとんどが都市近郊林であるため遊歩道が整備されており、豊橋市や浜松市から多くのハイカーが訪れます。また、民家等が国有林と隣接している箇所も多く国有林の保全管理には注意を払います。



境界刈払を行う職員

作業班は臨時を含め二名で、歩道修理、森林調査、境界管理、防火対策等の森林保全管理業務や林道維持作業を行っています。温暖な地域に属するため天然林ではシイ・カシ・クヌギなどの高木、林内にサカキ・ヤブツバキなどの常緑広葉樹が繁茂しており、これらの硬い木本類の刈払作業が多く、また、アカマツなどの枯立木伐倒作業など、適切な振動機械の使用とともに確実に安全作業を行うよう十分注意して実施しております。毎朝当

## 人のうごき

### 中部森林管理局人事

- 十一月一日付
  - ▽東信森林管理署業務第二課付(東信署業務第二課森林育成係長) 鎌倉 浩一
  - 十二月一日付
    - ▽北信森林管理署業務課森林ふれあい係長(北信署業務課付) 百瀬 結
    - ▽東信森林管理署業務第一課森林ふれあい係長(東信署業務第一課付) 下城さおり

## 行事・会議等の予定

- ◎民有林治山事業打合せ会議
  - 1月6～12日 長野市(局)
- ◎事業担当課長会議
  - 1月17～18日 林野庁



### 有明山

【中信署】長野県安曇野市の中房国有林にある有明山は、北アルプスの前衛に位置し、「北岳」「中岳」「南岳」の三峰から成り立ちます。三角点は北岳と中岳の間にあり、標高は二、二六八メートルとそれほど高い山ではありませんが、安曇平から見える姿が富士山に似ていることから「有明富士」「安曇富士」または「信濃富士」などと呼ばれています。

古来より歌枕として「かたしきの衣手寒く時雨つつ有明山にかかる白雲」と和歌に歌われ、「安曇節」の一節に「なを思案の有明山に小首かして出たワラビ」とあることから、昔から地元の人々に親しまれている山だということがわかります。

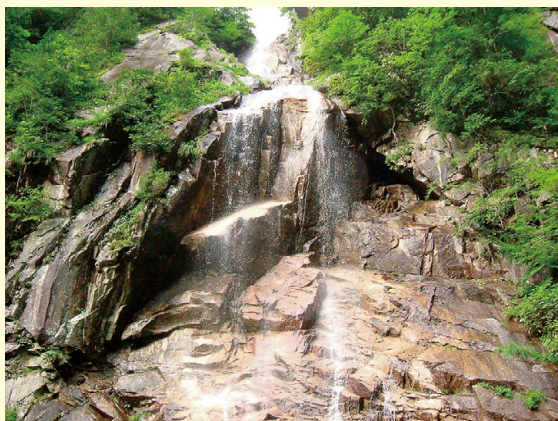
また、有明山には伝説があり、天照大神が岩戸に籠もって天下が暗闇になったとき、手力雄命がその岩戸を投げ、この地に落ちた岩が山になったとされています。その際、天下が再び明るくなったことが山名の由来だといわれています。



麓から望む有明山

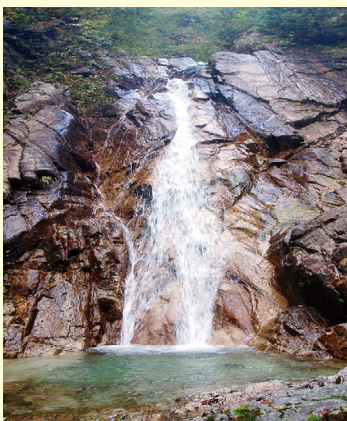
そのため、山岳信仰の山としても知られており、山麓には有明山神社が置かれ、山頂にも奥社があります。毎年七月には神社主催の参拝登山も行われており、多くの人々が奥社まで参拝をしています。山頂までは、黒川沢を登る「表参道」、県道中房線（通称）の終点付近から登る「裏参道」、松川村の馬羅尾国有林から登る「松川コース」の三つのルートがあります。

どの登山道も急峻で、登山口から山頂までは四時間から五時間以上は掛かり、避難小屋等も無いため、体力に自信がない方や山登り初心者には、ちょっと難しい山ですが、登山道沿いには小さな滝がいくつもあり、山頂からは北アルプスの燕岳や大天井岳を望むことができます。また、六月頃にはピンクや白色のシヤクナゲの花が咲き、登山者の疲れを癒してくれます。



妙見滝 (表参道)

- ◆アクセス  
(所在地) 長野県安曇野市穂高有明
- 表参道口  
豊科インターから国道一四七号を経て中房方面へ  
有明山神社から車で約五分
- 裏参道口  
表参道口よりさらに中房方面へ  
県道中房線（通称）終点の登山者用駐車場へ  
有明山神社から車で約三十分
- ※県道中房線（通称）は、十二月上旬から四月下旬まで冬期間閉鎖
- 松川ルート  
豊科インターから国道一四七号を経て松川村馬羅尾キャンプ場方面へ  
JR大糸線「信濃松川駅」から車で約二十分



不動滝 (松川コース)



たる沢の滝 (裏参道)



白河滝 (表参道)